

ふるさと玉川 「民具を照らす会」



先人の
生きた証を
次世代に残したい

昔の人々が毎日使っていた生活道具は、現代のようにボタン一つで操作するものではなく、先人の知恵と工夫によって制作されました。そんな昔の道具の魅力を次世代に残し、伝えるために活動する団体取材しました。

先人が残してくれた民具の保存と伝承に向けて

ふるさと玉川「民具を照らす会」は、昔の人々が使っていた農具、漁具、生活道具等の民具は先人たちの知恵と工夫が詰まった歴史的文化的遺産と考え、次の世代に先人の生きた証を伝えていく思いから平成25年に設立されました。小学校に出向いて子どもたちに民具を使った生活を体験してもらい、また、高齢者サロンやデイサービスでは、施設に訪れる高齢者に民具を見てもらい、昔の思い出を語ってもらう回想法で高齢者の認知症予防に繋げる活動をしています。

「今の子どもたちが昔の道具を五感で体験し、喜ぶ姿が嬉しく、また、高齢者が活動を通じて生きる力を取り戻す姿を見て活動を続けてきてよかった」そう話す代表の山上さんと事務局長の関根さんにお話を伺いました。

地域と民具の歴史を民俗かるたに

玉川小学校にほこりを被った民具があることを知り、使われないまま時代の流れと共に必要性がなくなり処分されようとする民具とその歴史が捨てられるのはもったいない。何とかして次の世代に伝えていきたい思いが設立のきっかけでした。まずは、小学校に置かれていた150点余りの民具を1つ1つ写真に撮り、寸法を測ってデータベース化しました。野路の地域に住む高齢者に民具の使い方を聞き取り調査していく中で、地域の風景や風土も次世代に残すべく、聞いた話を川柳にして民俗かるたを作成することにしました。会員が「あ」から「ん」まで民具の話の川柳にし、水彩画が得意な会員の方が川柳の内容を絵に描いて1年半かけてかるたが完成しました。低学年の子どもたちにも使ってもらえるように、読み札はひらがなで書かれているものと、漢字で書かれているものがあります。今では子どもたちの学習資料に、高齢者にとっては昔を思い出す材料となっています。

活動分野

生涯学習

スタッフ数

10名

団体設立

2013年4月1日

団体ホームページ

kayo-ko.wixsite.com/hurusato-tamagawa

会員がレベルアップして活動を広めたい

主な活動は、小学生や高齢者向けの出前講座です。地域の高齢者と子どもたちを結ぶ目的もあり、小学校の体験授業は会員の方が民具のことを伝えるのではなく、地域の高齢者の方から説明してもらっています。「高齢者の方が話すと民具にまつわるエピソードも話してくれるので子どもたちの食いつきが違います。」と話す山上さんは授業の後に生徒さんから届く授業の感想文を読むことを楽しみにしているそうです。

団体の活動は口コミで広がり、高齢者サロンなどでの活動は施設を訪れる高齢者にとっても喜ばれるそうです。「はじめは、表情も暗く、活動に参加しない高齢者の方が民俗かるたを手にとると懐かし話の輪に引き込まれ、徐々に前に出てきて積極的に参加してくれます。高齢者のイキイキした姿をみることが活動をする中での一番の楽しみです」と関根さんは話します。施設の高齢者に活動を楽しんでもらうために高齢者の心を掴むテクニックを磨いたり、回想法を学ぶため研修会に参加したりと会員の方々の勉強熱心な姿が印象的でした。

今は、この回想法で高齢者に楽しいひと時を過ごしてもらっているだけですが、専門家によってこの活動を継続的に取り上げられたら認知症予防に効果的ではないかと期待しているそうです。



▲完成した民俗かるた



▲机の上に民具を置いて昔の思い出話をする高齢者の姿

地域の自慢できる資料館を目指して

現在、草津市には歴史民俗資料館がありません。野路にある民具のデータベース化は完成しましたが、その他の地域にも民具はたくさん存在します。「これからは、活動に必要な民具を充実させると共に、集められた民具とデータベースを公開することで地域の方々にも活用していただき、草津の歴史を知るきっかけになれば」と山上さんは願います。「民具を古民家などに保管し、小学生の勉強スペースや高齢者が集う場所になるといいですね」と将来の夢を語ってくださいました。

便利な時代になり、自動化が進む現在において今後民具のことを憶えている年齢層が少なくなりつつあります。歴史的なまち草津であるからこそ、民具を文化遺産としてこれからも大切に守っていきたいですね。



▲玉川小学校に置かれていた民具の一部

取材＊メモ

取材中に、昔の洗濯板の写真を見せていただき、山上さんが使い方を説明してくださいました。洗濯板の表と裏で波の向きが違うことを教えていただき、洗う面は石鹸が残るように波が上に向いていること。すすぎの時は、水が流れるように、波が下に向いていること。先人の工夫と知恵に驚き、山上さんが説明してくださった内容は今も鮮明に記憶に残っています。



▲地域の方々と楽しく活動しています！